

先生

平成30年度厚生労働省科学研究補助金
「地域におけるかかりつけ医等を中心とした
心不全の診療提供体制構築のための研究」
榊原記念病院 磯部 光章

「地域で診る心不全患者の診療指針（仮）」

ご執筆のお願い

拝啓 先生におかれましては益々のご清栄のことと拝察申し上げます。

この度、非循環器専門医の実地医の先生を対象とした心不全診療の指針「地域で診る心不全患者の診療指針（仮）」の作成を予定しております。

つきましては、先生に別紙目次にございます項目のご執筆をお願い申し上げる次第でございます。「企画書・執筆要項」、「目次」、「執筆要項」を同封いたします。ご執筆に際しましては、ご執筆なさる際のお願いにお目通しくださいますようお願いいたします。

原稿締切日：**2019年3月31日（日曜日）**

原稿分量：原稿の文字数は目次に記載してございます。図・表・写真などは1つにつき300文字程度に換算いただき、原稿分量にお含めください。

（原稿の文字数はおおよその目安とお考えください。）

ご多用のところ恐縮に存じますが、原稿締切日までにそれぞれのWG長と班長（磯部）宛にご提出くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

「地域で診る心不全患者の診療指針（仮）」

-----【企画書】-----

対象：非循環器専門医の実地医、コメディカルスタッフ、介護スタッフ

仕様：B5判 色刷り、60-70ページ(予定)

企画の趣旨

班会議で議論してきたように、実地医家が心不全患者を地域で管理するために役立つ指針を作成することが目的です。あわせて、コミュニケーションツールとして心不全教育ツール(スライドセットなど)の作成を予定しています。6月頃までに第一稿を作成し、非公開で内容についての検証作業を行い、2020年度に最終版を作成する予定です。第一稿作成後も大きな修正変更が見込まれますので、あらかじめその旨ご諒承御願ひ申し上げます。

編集方針：

・「執筆要綱」、同封の「目次」の記載内容に沿ったスタイルでご執筆ください。内容や体裁上の一貫性を図るため、原稿については、加筆、修正、削除などをお願いすることもございます。また、記述方式や依頼原稿分量に沿うよう、編集作業の段階で手を加えさせていただくこともございます。この点、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。ご脱稿が遅れる場合は、ご執筆者の変更もあり得る旨も予めご了承ください。

原稿締切：2019年3月31日（日曜日）

著者査読：ご編集の先生方がお原稿をお読みになります。結果、修正等をお願い申し上げます。予めご了承ください。

「地域で診る心不全患者の診療指針（仮）」

-----【執筆要項】-----

タイトル

・タイトルの変更は可能です。その場合は、当該 WG 長の了解をえて下さい。

執筆分量

- ・原稿分量は目次に記載しております。項目の内容によっては、適宜増減頂いて問題ございませんが、あまりに大幅な超過がないようご配慮ください。
- ・図表、イラスト、写真等は大きさにもよりますが、1 点を 300 文字程度に換算し、執筆分量にお含めください。また、著作物として著作権取得が必要となるものについては可及的に使用を避けて、オリジナルなものにして下さい。最終出版物作成前に必要な著作権に関する処理はいたします。また出版業者にイラストなどの作成を依頼する予定ですので、この段階では仮の図表(引用も含めて)でも構いません。

まとめと Q&A

- ・各項目(2-1、2-2、3-1、など)のはじめに箇条書きで、重要なまとめを載せて下さい。数点から 10 点以内くらいで WG 長が調整して下さい。
- ・同様に項目末に短い Q&A(一問一答)を載せて下さい。やはり 10 点以内程度です。
- ・本文と重複する記載でも構いません。
- ・まとめと Q&A は依頼した字数に含める必要はありません。

本文記述方式

- ・「である」調で、長く分かりにくい文章にならないように平易、簡潔、明瞭な記述をお願い申し上げます。また、非循環器専門医の実地医の先生方やコメディカルスタッフ、介護スタッフでも理解可能な語彙利用ならびにわかりやすい表現をお心がけください。
- ・対象の理解を促すために図表化した方がわかりやすい文章はなるべく図表化し、視覚に訴える魅力的な構成をお心がけください。
- ・略語を使用する場合は、初出では日本語(Full spell: 略語)で表記し、以降は略語のみの表記としてください。略称については全体完成後、統一をして、巻頭に略称集の表を載せる予定です。
例)左室駆出率(Left ventricular ejection fraction: LVEF)
- ・欧文は文章の初めでも小文字で始めてください(固有名詞を除く)。
- ・文献は最小限とし、多くて 2~3 点。またはなしでも構いません。出来れば総説的なものに限り、またネットなどで容易に入手できるものがよいです。別紙「ご執筆なさる際のお願い」をご覧ください。
- ・見出しは、原則的に以下の体裁にご統一ください。
1, 2, 3,
1), 2), 3),
,
,
,

サンプル原稿

ご参考に既に推敲を終えた 2 点の原稿を添付いたします。この形式にこだわるものではありませんが、ご執筆の参考にして下さい。

データ送付のお願い

データファイルを E-mail にご添付の上、お送りください。もし、データサイズが大きい場合は、「データ便」などをお使いください。

データ送付先(以下の 2 箇所です)

磯部宛 Kumiko Igarashi kigarashi@hq.heart.or.jp

該当の WG 長宛(敬称略)

加藤真帆人、 水野篤、 安斉俊久、 横山広行

その他

- ・最終的な作成にあたり、執筆者は巻頭に一覧表と所属を載せるにとどめ、個々の箇所の執筆者は記載しません。班全体で連帯して責任を持つ形です。
- ・最終板には全執筆者の COI 記載をする予定です。